

「安心安全な災害・避難誘導対策」

通常通行の妨げにならない、

避難誘導の道路標示

「平面画像の立体認識技術・製品」

知的財産権研究開発事業化 株式会社 一心助け

代表取締役 鈴木英雄



代表取締役

昭和42年 東京都立工業高等専門学校機械工学科卒業（上位成績優秀者）

昭和49年1月～

実父急死、遺言により弱冠27歳1カ月で代表となるもオイルショックにより半年間受注・売上なし新規技術・製品開発・新規取引先開拓により、苦境を乗り越える

異型接点・マイクロモーター用接点95%の市場占有率 自動車・家電・腕時計その他電気部品を開発・受注利益増大。 多層複合接点開発・特許出願・一部上場企業との取引開始

昭和63年4月～ 会社を実弟2人に無償譲渡し代表取締役退任&退社。

他企業5年の勤務後、公的機関で6ヶ月間電気・電子制御技術・経営管理・経理・総務・労務などを半年間研鑽する

2000年7月学習支援&知的財産権研究開発事業化を千葉県流山市に開設。

長男鈴木博英、副代表として参画。

2006年4月知的財産権研究開発事業化に特化、千葉県柏市に拠点を移す。

2014年4月14日 株式会社 一心助け（資本金300万円）組織変更

取締役 鈴木博英

職歴等 1973年4月24日 埼玉県八潮市生まれ

埼玉県八潮市立第2小学校～私立海城中学校～同高等学校～某薬科大学トップ入学～自主的判断により2年で中退。数社社会経験として勤務後、副代表として参画。

一心助け開発技術・製品及び出展・受賞・特許等 多数

国内外内の交通事故多発・災害時の緊急避難をより安全・安心なものにするために考え出しました。

誤って他の通行帯・ゾーンに侵入したとしても、従来のように構造物にぶつかることが無く、怪我や物損事故もなく、荷降ろしでの一時駐車も可能であり、商店街への影響も少ない。

構造物でないため交差点上に設置することにより、自動車と自転車・歩行者等の巻き込み事故も大幅に防ぐことが出来、緊急車両通行も可能。

道路や歩道・災害時の危険箇所・ゾーンに災害に関連する避難経路などの平面画像立体認識させる方法及び製品を使うことで通常時から交通安全（お年寄り・児童・障害者なども）と共に災害への心づもりや対策が自然に計れます。

受賞等履歴

関東地方発明表彰 発明奨励賞

みたかビジネスプランコンテスト 特別賞

三鷹地下駐輪場これまで実物ポール設置



違法駐輪が絶えない



立体認識ポール平面画像貼付



違法駐輪激減



平成28年度埼玉県新製品・新技術マッチング事業(応募者)採択

現在、越谷しらこぼと公園出入り口道路にて実証実験中

これまで道路中央走行車両や違法駐停車車両により通行に支障



左側相互通行励行と違法駐停車が激減。



2017/07/08 09:55

柏市チャレンジ支援採択事業 流山市平面画像立体視シート貼付実証実験

令和5年2月2日（木）午後3：00～3：30

施工場所 江戸川サイクリングロード土手沿い 流山市5丁目

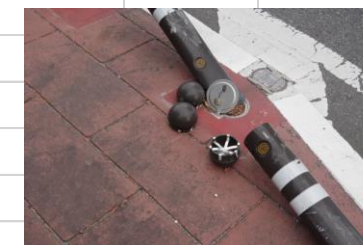
約1m道路出口と道路との境にラバーポール立体視2枚貼る

はがれ及び車両の通行状況調査



はがれ & 立体視画像問題なし

隣車庫入れ & 路地利用者とも問題なし



走行自動車画像を避けて通行している。

実物ポールでは白線上に停車 & ポール破損現場（金属製）

令和5年2月2日（木）午前9：00～9：30

はがれ及び車両の通行状況調査

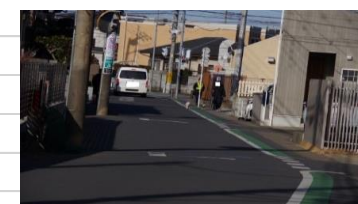
近くの小学校通学路で、貼付して安全性の向上の検証

施工場所

流山市向小金福祉会館入り口信号交差点から向小金ふれあい公園まで約200m、歩道幅1.4m道路4mにより自動車の対面では歩道に出る



はがれ＆立体視画像問題なし（画像上に何かを流されたような跡あり）



通学時間帯過ぎでの歩行者・自転車＆自動車走行＆安全性問題なし

流山市の香取神社のスクランブル交差点：問題改善・解消に貢献（NHK首都圏ナビ）

参照：https://www.nhk.or.jp/shutoken/selection/schoolzone/chiba.html?fbclid=IwAR21vzuLut-aVmuGT_sg0tTOKLtmIF64RCCy1NPTu2JmeLPmwG8XPGL6jF4#sz_194

急坂で自転車がスピードを出して歩道を走行するのを徐行注意喚起効果の検証

流山市野々下3丁目バス停中心とした約200m歩道 左側（コンビニ側）

中学生等の自転車坂激走調査



はがれ & 立体視画像問題なし



歩行者安全確保&自動車走行&安全性問題なし（自転車が徐行しているので安心して歩道通行している・・お年寄りやスマホ見ながらでも）

多くの中学生達はこの歩道から側道（自動車左道路白線歩道寄り）を多くの自転車が走行し、副次的効果も得た。

令和5年2月2日（木）午前8：15～8：30

急坂で自転車スピードを出して歩道を走行するのを徐行注意喚起効果の検証

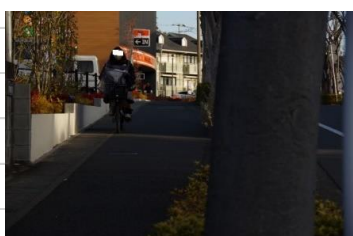
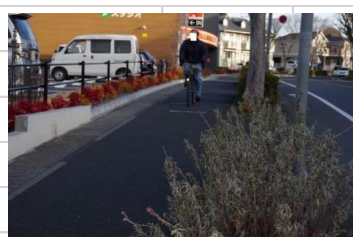
施工場所

流山市緒ヶ崎歩道方側（右側）

1枚貼付で4か所



はがれ＆立体視画像問題なし



走行する自転車はみなこがずに、惰性で坂を走行して、歩行者との安全は保たれていた。

画像上を歩行したり、自転車で走行しても問題なし。（前回検証と変わりなし）

施工場所	社会福祉法人 鷹見会 〒270-0021 千葉県松戸市小金原6-2-4
令和5年1月10日（火）午前9：23～10：10	松本 真紀さん立ち合い及び要望
介護者が無断で玄関から出て行ってしまうので、（鎖も外して・・・鍵をかけると虐待と言われる）注意喚起シートを貼る。	
送迎車が駐車場から出払っていると無断でそのスペースに駐車されてしまうので、駐停車禁止シートを貼る。	
   	
玄関出入口に虎ブロック（外出禁止）を2枚貼る。	玄関にポールを貼る。
駐車場に虎ブロックとポール（駐停車禁止）を貼る。	
令和5年2月2日（木）午前12：00～午後2：00	松本 真紀さん立ち合い位置と画像決め
介護者が無断で玄関から出て行ってしまうので、（鎖も外して・・・鍵をかけると虐待と言われる）注意喚起シートを貼る。	
送迎車が駐車場から出払っていると無断でそのスペースに駐車されてしまうので、駐停車禁止シートを貼る。	
    	
建屋表と駐車場	玄関内に「外出禁止」ブロック2枚&玄関外にラバーポール1枚
    	
玄関内「外出禁止」2枚貼付後マットを設置&外駐車場貼付設置	
理事長：	かなりのインパクトがあるとのこと
利用者の無断外出禁止シート	
・距離的に利用者目線とシートが近い為、立体視は少々弱まりますが、文字がはっきり見える上、2枚連続で貼ってあるのでそこから先へ進まずに眺めているようです。	
慣れ等今後の経過を見る必要がありますが、現時点で効果があります。	
駐停車禁止シート	
・屋外なので、立体視効果はあります。	
文字が車からはややみえにくく、赤文字部分がもっと太く字数も「駐停車禁止」の4文字でできるだけ大きい方がよく見えるかと思いました。	
しかし、黒と黄色の斜線シートは目立っています。	
当法人の車が無い時に、駐車する車は現在のところありません。	
現時点で効果があります。	

流山市平面画像立体視シート貼付実証実験総括									
実証実験場所	1	江戸川サイクリングロード土手沿い流山市5丁目	約1m道路出口と道路との境にラバーポール立体視2枚貼る						
実証検証事項		狭い道路から自動車道に出る際の危険性を軽減するため。ポール設置が困難。							
実証実験結果		別添付資料参照	その通学路、安全ですか？～事故が起きる前にできること～：千葉県 NHK						
実証実験考察		別添付資料写真のごとく、走行自動車は画像を意識して、白線上すら走行することがなかった。							
		車庫入れて、画像上を踏んでも問題なく車庫入れができた。（実物ポールでは破損事故が起きる）							
		狭い道路から出入りする自転車も安心して出入りしていた。							
実証実験場所	2	流山市向小金福祉会館入り口信号交差点から向小金ふれあい公園まで約200m	14枚						
実証検証事項		近くの小学校通学路であり、白線上に三角コーンを臨時設置しているのに代わって、貼付して安全性の向上を図る。							
実証実験結果		別添付資料写真のごとく、通学児童・お年寄り・散歩歩行者・車椅子等で通行に安全性が見られた。							
実証実験考察		交通指導員や近隣・通行人などにも好評で、もっと多くの場所に設置してほしいとの要望が多く寄せられた。							
		歩道幅1.4m、道路幅4mの為自動車のすれ違いではどうしても歩道側に避けなければ相互通行できないので、実物ポール設置では、相互通行及び歩行者の通行に支障が出ることが考えられる。							
実証実験場所	3	流山市野々下3丁目バス停中心とした約200m歩道	左側（コンビニ側）						
実証検証事項		急坂で自転車がスピードを出して歩道を走行するのを徐行注意喚起するため							
実証実験結果		別添付資料写真のごとく、自転車徐行が励行され、お年寄り、近隣の方からも評価されている。							
実証実験考察		道路側への自転車走行が副次的効果として多く見られ、障害者などの通行に役立つものである。							
		急坂の少し手前から1.2か所貼付することで、より効果が増すと考えられます。							
実証実験場所	4	流山市鰯ヶ崎歩道方側（右側）	1枚貼付で4か所						
実証検証事項		急坂で自転車がスピードを出して歩道を走行するのを徐行注意喚起するため							
実証実験結果		別添付資料写真のごとく、自転車徐行が励行され、お年寄り、近隣の方からも評価されている。							
実証実験考察		道路側への自転車走行が副次的効果として多く見られ、障害者などの通行に役立つものである。							
		急坂の少し手前から1.2か所貼付することで、より効果が増すと考えられます。							
実証実験場所	5	松戸市社会福祉法人 鷹見会							
実証検証事項		施設における、無断外出・無断駐停車の改善効果。							
実証実験結果		施設において施工後、その結果、無断外出・無断駐停車が激減し改善効果が認められた。							
実証実験考察		関連施設での有効利用が考えられる。							
総合的に見て		貼付1ヶ月後経過においても、画像変化・はがれなどが見られず、効果は継続している。							
		貼付実証実験での住民等の要望も多く（特に、障害者などからの要望が多く寄せられている）、今後全国的に販路拡大活動を行う。							

貼付1ヶ月後経過においても、画像変化・はがれなどが見られず、効果は継続している。

貼付実証実験での住民等の要望も多く（特に、障害者などからの要望が多く寄せられている）、今後全国的に販路拡大活動を行う。

道路や歩道・災害時の危険箇所・ゾーンを



あたかも立体物があるかのように見せ



避難経路や危険箇所・避難所などを



普段から意識すると共に



災害・緊急避難時に有効。



災害に関連する避難経路などの平面画像を



飛び出しているかのごとく立体認識させ



道路・歩道・避難経路・商店街に貼付・設置



お年寄り・児童・障害者なども含め



通常時から交通安全と共に災害へ心づもり
や対策が自然に計れます。



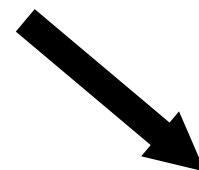
実物ポール



ポール平面画像



置くだけ



実物



テープ



タイル上に置く



コンクリートに貼付

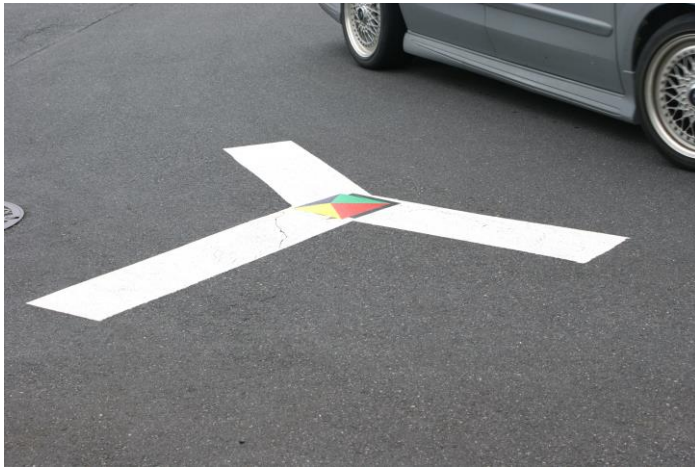


点字ブロックに貼付

なんでも
ござれ！

試験的設置事例-6(実証実験含む)

立体図形道路上に臨時設置



写真を撮りすぐ剥そうとした→車が来た→みな避けて通った→その模様

平成28年埼玉県新製品・新技術マッチング事業採択 越谷しらこばと公園車両出入り道路設置



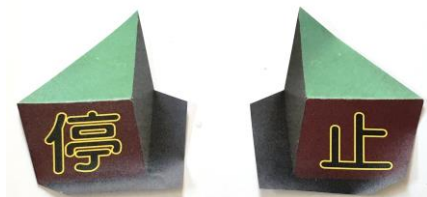
立体視平面ポール画像

立体視(左に寄る)

スムーズな相互通行

設置前:違法駐車・中央走行→設置後:違法駐車・中央走行激減

交通対策平面画像の立体視例(無限に近い)



従来工法例（リアル感・立体感が少ない）



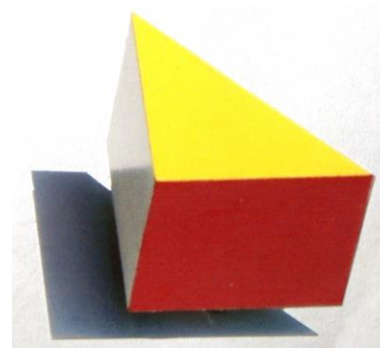
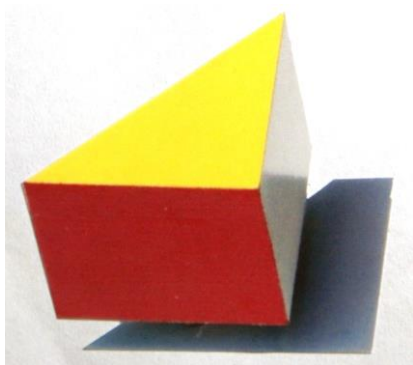
本技術例（リアル感・立体感効果大）



スポーツイベント等での利用



逆走事故防止例



- 自治体等との役割分担及び自治体等と契約する場合の内容や金額別プラン

自治体等内道路・歩道・避難経路等に自治体等独自或いは既存の「平面画像の立体認識技術・製品」を当方と施工契約を結び当方が施工する。自治体等で施工：利用料金

NETIS登録金額では5枚施工（交通指導員等の経費は除く、画像・シート及び施工費のみ）で125,000円（従来のラバーポール施工の半分）ですが、柔軟に対応します。

- 協働や導入までの全体スケジュール

自治体等独自或いは既存の「平面画像の立体認識技術・製品」を制作→自治体等内道路・歩道・避難経路等実証実験施工→検証→自治体等内道路・歩道・避難経路等本格的施工



ご聴講ありがとうございました。
さらなるご支援よろしく願いいたします。

株式会社 一心助け